

「令和3年度 全国学力・学習状況調査」結果について

1 実施概要について

(1) 調査の目的

- ①義務教育の機会均等とその水準の維持向上
- ②教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立
- ③児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に活用

(2) 調査の対象及び内容【令和3年5月27日（木）実施】

- ①各小学校6年生及び各中学校3年生の全児童生徒が対象
- ②調査内容
 - ア. 国語、算数・数学の学力調査
 - イ. 児童・生徒の学習状況等に関わる質問紙調査
 - ウ. 学校に対する質問紙調査

(3) 実施の状況（公立の実施学校数と児童生徒数）

- ①全国の状況
 - 小学校等
 - ・国 語：18,857 校 993,975 名
 - ・算 数：18,854 校 994,101 名
 - 中学校等
 - ・国 語：9,319 校 903,157 名
 - ・数 学：9,316 校 903,253 名
- ②本県の状況
 - 小学校等 225校（小学校221校、義務教育学校前期課程3校、特別支援学校小学部1校）
 - ・国 語：8,032 名
 - ・算 数：8,033 名
 - 中学校等 92校（中学校86校、義務教育学校後期課程3校、特別支援学校中学部3校）
 - ・国 語：8,143 名
 - ・数 学：8,143 名

2 学力調査の結果（本県における各教科の平均正答率）

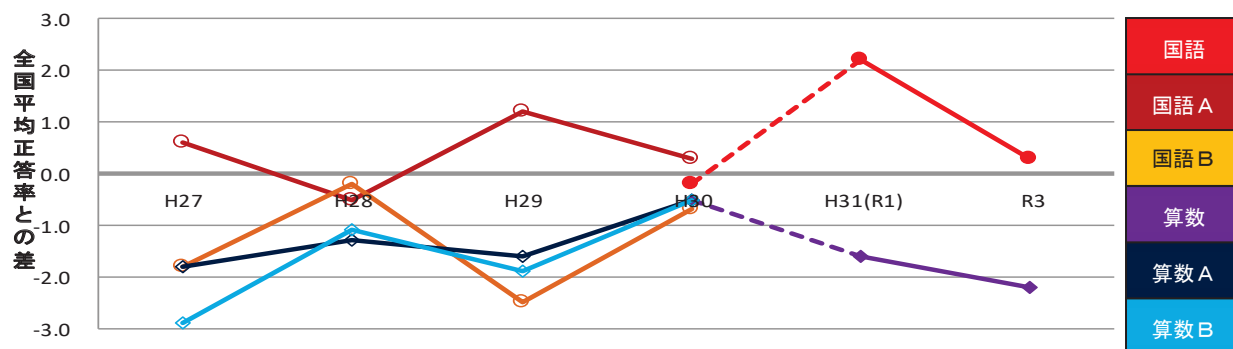
(1) 小学校6年生 ※数値は正答率%〔都道府県は整数値で公表〕

	山形県	全国
国語	65	64.7
算数	68	70.2

(2) 中学校3年生 ※数値は正答率%〔都道府県は整数値で公表〕

	山形県	全国
国語	66	64.6
数学	56	57.2

全国学力調査(小学6年)経年比較



	H27	H28	H29	H30	H31(R1)	R3
国語				-0.2	2.2	0.3
国語A	0.6	-0.5	1.2	0.3		
国語B	-1.8	-0.2	-2.5	-0.7		
算数				-0.5	-1.6	-2.2
算数A	-1.8	-1.3	-1.6	-0.5		
算数B	-2.9	-1.1	-1.9	-0.5		

※平均正答率について、全国の値は小数第1位まで示されているのに対し、都道府県の値は平成29年度から整数値で示されていることから、平成29年度以降のグラフの値は、全国との差の範囲の中間値を表示しています。

○小学校国語

A問題(主に知識に関するもの)

年度	平均正答率	全国との差	年度	平均正答率	全国との差
平成27年度	70.6	+0.6	平成27年度	63.6	-1.8
平成28年度	72.4	-0.5	平成28年度	57.6	-0.2
平成29年度	76	+1.2	平成29年度	55	-2.5
平成30年度	71	+0.3	平成30年度	54	-0.7

B問題(主に活用に関するもの)

A・B問題一本化

平成31年度	66	+2.2
令和3年度	65	+0.3

○小学校算数

A問題(主に知識に関するもの)

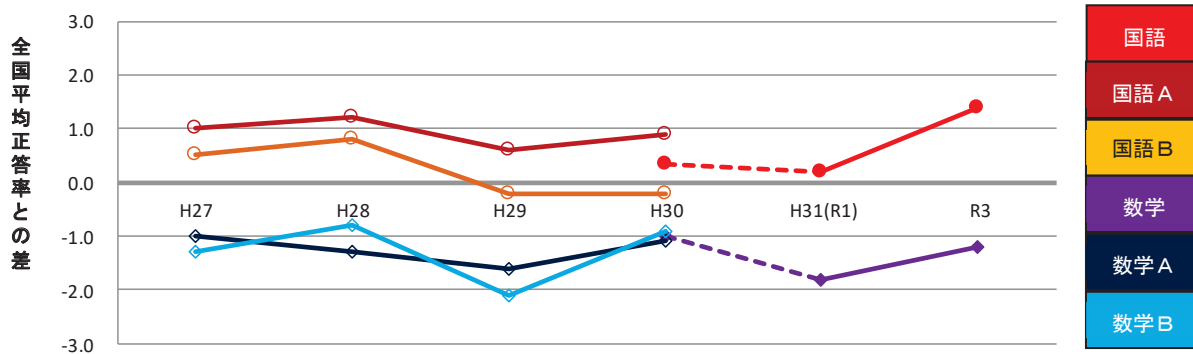
年度	平均正答率	全国との差	年度	平均正答率	全国との差
平成27年度	73.4	-1.8	平成27年度	42.1	-2.9
平成28年度	76.3	-1.3	平成28年度	46.1	-1.1
平成29年度	77	-1.6	平成29年度	44	-1.9
平成30年度	63	-0.5	平成30年度	51	-0.5

B問題(主に活用に関するもの)

A・B問題を一本化

平成31年度	65	-1.6
令和3年度	68	-2.2

全国学力調査(中学3年)経年比較



	H27	H28	H29	H30	H31(R1)	R3
国語				0.4	0.2	1.4
国語A	1.0	1.2	0.6	0.9		
国語B	0.5	0.8	-0.2	-0.2		
数学				-1.0	-1.8	-1.2
数学A	-1.0	-1.3	-1.6	-1.1		
数学B	-1.3	-0.8	-2.1	-0.9		

※平均正答率について、全国の値は小数第1位まで示されているのに対し、都道府県の値は平成29年度から整数値で示されていることから、平成29年度以降のグラフの値は、全国との差の範囲の中間値を表示しています。

○中学校国語

A問題(主に知識に関するもの)

B問題(主に活用に関するもの)

年度	平均正答率	全国との差	年度	平均正答率	全国との差
平成27年度	76.8	+1.0	平成27年度	66.3	+0.5
平成28年度	76.8	+1.2	平成28年度	67.3	+0.8
平成29年度	78	+0.6	平成29年度	72	-0.2
平成30年度	77	+0.9	平成30年度	61	-0.2

A・B問題を一本化

平成31年度	73	+0.2
令和3年度	66	+1.4

○中学校数学

A問題(主に知識に関するもの)

B問題(主に活用に関するもの)

年度	平均正答率	全国との差	年度	平均正答率	全国との差
平成27年度	63.4	-1.0	平成27年度	40.3	-1.3
平成28年度	60.9	-1.3	平成28年度	43.3	-0.8
平成29年度	63	-1.6	平成29年度	46	-2.1
平成30年度	65	-1.1	平成30年度	46	-0.9

A・B問題を一本化

平成31年度	58	-1.8
令和3年度	56	-1.2